



# 地域と共に

平成29年10月号 (秋季号)

Vol.72

- 新副看護部長ご挨拶
- 緩和ケア認定看護師をご紹介します
- 入院患者さんの栄養食事指導
- がん患者相談のご案内
- 救急セミナーを開催しました
- 秋の市民公開講座を開催いたします

## 基本方針

1. 患者第一主義 常に診療を受ける皆様の立場で考え誠実に行動します。
2. 安全確保 すべての診療現場で患者の皆様が安心できる環境を作り、安全で質の高い医療を提供します。
3. 社会貢献 良質な医療提供を基本として積極的に社会に貢献をします。
4. 公正で透明性のある病院 高い倫理観に基づき様々な情報を開示します。
5. 働きがいのある職場作り 創造性、主体性を尊重しあい自由に働きやすい職場を実現します。



<http://www.sagaminojcho.go.jp>



**Security**  
優れた安全対策で皆様を守ります。

**Service**  
先進の医療を快適に提供します。

**Speed**  
すべてに迅速な対応を心がけます。

**Sympathy**  
患者の皆様と思いを共有します。

# 生き生きと働ける 職場を目指して



副看護部長 近藤 八重子

本年4月にJCHO東京山手メディカルセンターより赴任し、副看護部長を拝命いたしました。未熟者ではございますがどうぞよろしくお願い申し上げます。

早いもので赴任してから半年がたちました。相模野病院はJCHOの理念である地域医療・地域包括ケアの推進にむけて地域包括ケア病棟・訪問看護ステーションを立ち上げ、地域の人々が必要とする医療の提供に力を入れていることを実感しております。

田中看護部長のもと、患者さん一人ひとりと向き合った質の高い心のこもった看護を提供できるよう、看護部では様々な取り組みを行っております。その一つに「人材育成と看護職員確保」があります。私は、これには看護職一人ひとりが、そして、看護部全体が生き生きと輝ける職場であることが必要であると考えております。お互いの良さを発見し、認め合い、高め合える風土を創り、そして、これが途絶えることのないよう、当院が看護職に選ばれる病院となるよう努力して参りたいと思います。皆様、どうぞ、ご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。



## 緩和ケア認定看護師をご紹介します



緩和ケア認定看護師  
相川 美穂

私は緩和ケア認定看護師の相川美穂と申します。よろしくお願いいたします。

緩和ケアはがんと診断された時から始める、からだやこころのつらさを和らげるケアのことを言います。‘終末期のケア’ではありません。がんと診断された時から人生最期を迎えるその時まで緩和ケアが求められていますが、まだ十分とは言えません。

私は今まで、多くのがん患者さんやそのご家族と関わる中で、本当に自分は患者さんやご家族の望むケアができているのか悩んでいました。しかし、専門性を身につけ自信を持って患者さんやご家族へケアの提供をしたいという思いが次第に強くなって緩和ケア認定看護師を目指すようになり、この度、認定看護師試験に合格することができました。緩和ケアの勉強をすればするほど自分の知識と技術不足を痛感していますが、患者さんやご家族が望む生活ができるよう精一杯お手伝いしていきたいと思っています。また、スタッフへの専門的知識や技術の指導を通して、患者さんをサポートする仲間を増やしていきたいとも考えています。

療養場所がどこであっても切れ目のない緩和ケアの提供ができるよう、外来、外来化学療法、訪問看護など他職種と連携した緩和ケアの提供を目指していきたいです。

療養場所がどこであっても切れ目のない緩和ケアの提供ができるよう、外来、外来化学療法、訪問看護など他職種と連携した緩和ケアの提供を目指していきたいです。